

岩田理事長らを再任

関西鉄筋組合の通常総会

地域性を考慮し常任理事を新設

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）の「第 53 回通常総会」が 5 月 14 日、大阪市北区のリーガロイヤルホテルで開催され、平成 25 年度の事業報告・収支決算報告や平成 26 年度事業計画・収支予算案などを承認するとともに、任期満了に伴う役員改選では岩田理事長はじめ正副理事長が再任されました。

総会には正会員、賛助会員合わせて約 70 名が出席。議事に先立って挨拶した岩田理事長は「社会保険未加入問題や重層下請構造の改善など課題は山積しているが、発注者や元請に理解を求めることと同時に、我々自身も襟を正さなければならない」と強調。また、今年 3 月に国土交通省の建設産業活性化会議に招かれたことに言及し「この会議で担い手確保について発表したが、出前講座をはじめとする我々の組合の取り組みに関心が寄せられた」と話し、今後の組合活動にも期待を込めました。

今年度の事業計画は工業高校や大学等での出前講座の開催、建設技術展への出展のほか、新たな事業として海外技能実習生の受入れ準備に着手することになりました。役員改選では岩田理事長をはじめ副理事長の戸田裕雄、田浦真一、田中勲の各氏を再任したほか、近畿地方整備局管内の広域エリアで組合活動の地域性を考慮して常任理事を新設し、兼松利男（京都府、兼松工業）、鎌田敦士（和歌山県、鎌田鉄筋工業）、北川貞純（福井県、北成鉄筋工業）の 3 氏が就任しました。

また、総会後に行われた懇親会で新規会員となった小泉組、小泉鉄筋、長瀬鉄筋工業の 3 社の紹介と各代表による挨拶がありました。

青年部の総会では辻本部長を再任

組合の総会に先立って青年部の「第 22 回総会」が開かれ、平成 25 年度事業報告・決算報告や平成 26 年度事業計画・収支予算案などを承認しました。任期満了に伴う幹事改選では辻本部長が再任されたほか、副部長に今村俊郎氏（吉岡工業）を選任しました。

辻本部長は挨拶で「昨年は青年部の 20 周年を無事に迎えることができた。次の 30 周年に向けて、会員が一致結束して活動していきたい」と抱負を述べました。事業計画では講習会や研修会の開催に加え、全鉄筋の青年部全国連絡会議への参加を予定しています。

理事長挨拶



青年部総会

